

○大学生生活

・授業 (unterricht)

10月後半から授業が開始された。私は DAF (外国語としてのドイツ語) という授業と、トリア大学における自分の専攻の授業 (日本学、歴史学) を受けている。

まず DAF の授業について。これは簡単に言うと「ドイツ語をドイツ語で学ぶ」授業である。オリエンテーションプログラムの最終日に留学生は全員テストを受け、その結果により DAF のクラス分けが行われる。私はオリエンテーションプログラムの時より一段階上 (A2) のランクのクラスに入った。

授業は文法を中心に学ぶ”Deutsche Brücken kurs”・会話表現を中心に学ぶ”Sprechen kompetenz”の二種類、月曜日から木曜日で6コマ (合計12時間) ある。

ドイツ語をドイツ語で学ぶ授業であるため、指示や説明はすべてドイツ語で行われる。授業中何度もグループワークをするのだが英語や日本語を少しでも使うと「Nur auf deutsch!! Auf deutsch!!」と注意されてしまう。

この DAF の授業を受け始めてから、日本との違いに一つ気が付いた。授業に対する姿勢である。決して受け身になることがない。非常に貪欲な人が多い。日本で授業を受けるときは、常に静かにしていることが当たりまえであった。発言者は必ず先生によって選ばれ、自分に発言権がないときは静かに先生の話を聞いていた。しかし、こちらはその反対の「発言したものの勝ち」である。まず、先生が誰かを当てることがあまりない。「～はどうか？」と先生が質問を振れば、即座にみんなが口々に答えを言う。先生が誰かをあてることがあっても、指名されていないにもかかわらず発言する人がいる (これはどうかと思うが)。「自分の答えがあっているか」などと一瞬戸惑うと、もうほかの人に答えを言われてしまうときもあった。

慣れるまでいらいだちを感じることもあったが、今はとにかく「周囲の勢いに負けずに反応しなくてはならない」と思えるようになった。

自分の専攻の授業は一般の学生に交じって受講している。ドイツ語でドイツ人学生と討論をしたり、プレゼンテーションを行うのはまだ難しいと感じたため、voresung という講義形式の授業を選ぶことにした。特に日本学の「Japanisch geschichte」という講義はドイツ語で日本史を学ぶことができ非常に楽しい。

・Stud IP と PORTA

トリア大学のホームページに「Stud IP」「PORTA」なる項目がある。これらは、履修登録やレジュメのダウンロード、教授からの連絡を受け取ったり、今週一週間の授業日程の確認までできてしまう非常に便利なシステムである。課題や突然の休講などの情報もすべてここに載っているのも毎日確認しておくべきである。

また、ネット環境があればどこからでも閲覧することが可能なので本当に使いやすい。

・Tandem パートナー

Tandem パートナーとは、トリア大学の日本学を専攻している学生と日本人留学生同士でお互いに語学学習を助け合うというものである。Tandem をする相手は日本学科の学生が企画してくれるイベントのなかで各自で見つける。私は 3semester 目の二人の日本学科の学生にタンデムをしてもらっている。週に一回程度一緒にお昼ご飯を食べながら、またお茶を飲みながら授業でわからなかったところや、単

語や文法の微妙な意味の違いなどを教えてもらったり、逆に相手に日本語の単語や文化を教えたりしている。

○日常生活

・学生ビザの取得

まず、前回のレポートの一部を訂正したい。「ビザの手続きはすべて自分でおこなう」と書いたが、このsemesterは違っていたようでオリエンテーションプログラムにおいて回収された全留学生の書類はまとめて移民局に提出され、ビザが発行され次第各自で受け取りに行くという方法であった。しかし、私は書類に不備があったため何度か移民局に自分で赴き手続きを行うこととなった。

トリアの移民局は *Porta nigra* より徒歩 15 分ほどの住宅街の中にあり、非常に分かりにくい。初めて行くときは、*Tandem* パートナーかほかのドイツ人の友達についてきてもらう方がよい。

ビザの受け取りはパスポートの提出と 50€の支払いが必要である。

・Weihnachtsmarkt (クリスマスマーケット)

11 月に入った途端に、町全体がクリスマスモードに包まれる。クリスマスのためのキャンドルや飾りがそこかしこで売られ、クリスマスのプレゼントを意識した CM が流され始める。そして 11 月中旬になると各地でクリスマスマーケットが始まる。*Gluhwein* や *heisserschokolade*、ブルストなどの食べ物を売る屋台や、リース・クリスマス飾りを売る屋台、移動式遊園地などがあり、すべてがきらきらと輝く様子は本当に美しく、寒さも忘れてうっとりしてしまう。



トリアのクリスマスマーケットの様子